

高齢者生活実態調査概要（案）

1 調査期間

令和4年11月下旬から12月下旬までの約1か月

2 調査方法

郵送配布・郵送回収（在宅介護実態調査については、認定調査員による聞き取り調査も実施予定）

3 調査内容

調査名	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	
目的	要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を調査し、地域の抱える課題を把握する	
調査対象	65歳以上の市民（無作為抽出）	約1,200人
	要支援1、要支援2の市民	約500人
設問	設問総数	63問
	(1) 家族や生活状況について	4問
	(2) からだを動かすことについて	9問
	(3) 食べることについて	8問
	(4) 毎日の生活について	18問
	(5) 地域での活動について	3問
	(6) 助け合いについて	8問
	(7) 健康について	8問
	(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について	2問
	(9) 回答者について	3問

調査名	在宅介護実態調査	
目的	在宅継続・就労継続など主として要介護者の客観的な状態を把握する	
調査対象	要介護1～要介護5の在宅の市民	約1,000人
設問	設問総数	19問
	A票：ご本人について	(14問)
	(1) 世帯類型	1問
	(2) 介護を受ける頻度について	1問
	(3) 主な介護者との関係性について	1問
	(4) 主な介護者の性別について	1問
	(5) 主な介護者の年代について	1問
	(6) 主な介護者が行っている介護内容について	1問
	(7) 主な介護者の介護を理由とした離職等について	1問
	(8) 現在利用している介護保険サービス以外の支援等について	1問
	(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援等について	1問
	(10) 現時点での施設等への入所の検討状況について	1問
	(11) 現在抱えている傷病について	1問
	(12) 訪問診療の利用について	1問
	(13) 現在利用の介護保険サービスについて（住宅改修・福祉用具除く）	1問
	(14) （サービス未利用者）その理由	1問
	B票：主な介護者の方について	(5問)
	(1) 主な介護者の勤務形態について	1問
	(2) （勤務している場合）介護にあたり行っている働き方の調整について	1問
	(3) （勤務している場合）仕事と介護の両立について必要な職場での支援について	1問
	(4) 今後の仕事と介護の両立について	1問
	(5) 介護者が不安に感じる介護等について	1問

※調査内容については、現時点では令和元年度に実施した調査と同様の内容を予定しています。今後、国から示される指針等により変更になる可能性があります。